



藤田観光株式会社
2023年12月期 第3四半期
決算説明資料

2023年11月9日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

損益計算書



FUJITA KANKO

2023年12月期 第3四半期決算説明資料

3Q累計で前年比162億円増収、80億円増益

▶インバウンド需要を捉え、WHG事業で前年比121億円増収、65億円増益
リゾート事業も営業黒字化、全事業で営業黒字となる

			2023年	2022年	前年比	<参考> 2019年 3Q累計実績	2019年比	
	(百万円)	上期実績 1~6月	3Q実績 7~9月	3Q累計 実績				3Q累計 実績
売上高		29,162	16,393	45,556	29,337	+16,219	50,035	▲4,479
	WHG事業	16,419	9,504	25,923	13,803	+12,120	27,870	▲1,947
	ラグジュアリー-&バンケット事業	8,660	3,604	12,265	9,879	+2,386	15,727	▲3,462
	リゾート事業	3,120	2,874	5,995	4,001	+1,994	4,482	+1,512
	その他（調整額含む）	962	410	1,372	1,654	▲281	1,954	▲581
営業損益		1,912	1,803	3,715	▲4,376	+8,092	▲720	+4,435
	WHG事業	1,889	1,576	3,466	▲3,131	+6,597	1,409	+2,056
	ラグジュアリー-&バンケット事業	646	▲226	419	▲688	+1,107	▲998	+1,418
	リゾート事業	▲400	476	76	▲363	+439	▲591	+667
	その他（調整額含む）	▲223	▲23	▲246	▲193	▲52	▲539	+293
経常損益		2,504	1,821	4,325	▲4,195	+8,521	▲593	+4,919
	特別利益	627	0	628	1,088	▲459	267	+360
	特別損失	40	253	294	46	+247	163	+131
	税金費用等	19	10	29	▲33	+63	▲67	+97
親会社株主に帰属する四半期純損益		3,073	1,557	4,630	▲3,120	+7,751	▲421	+5,051

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績
 ※ 当四半期において遊休施設（箱根寮社宅等）撤去費用の引当処理に伴い2.4億円を特別損失として計上

損益計算書 (売上・営業利益推移)



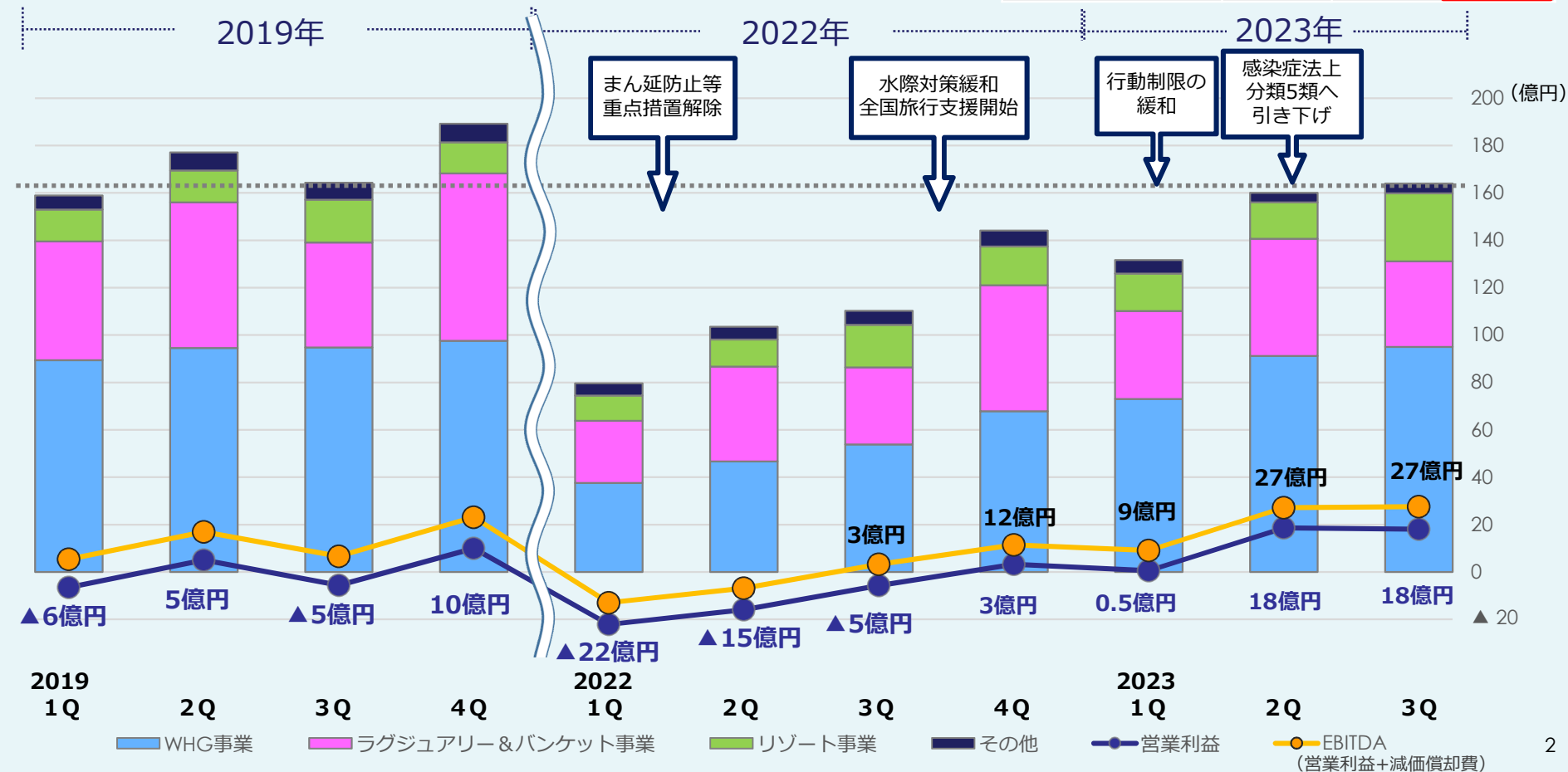
FUJITA KANKO

2023年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶ 3Q (7~9月) の売上高が2019年並みに回復
- ▶ WHG事業は2019年3Q並み、リゾート事業は「箱根ホテル小涌園」開業により2019年3Qを大きく上回る

四半期別売上高 2019年同期比	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q
WHG	82%	97%	100%
ラグジュアリー &バンケット	74%	79%	81%
リゾート	118%	115%	160%

売上高・営業利益推移

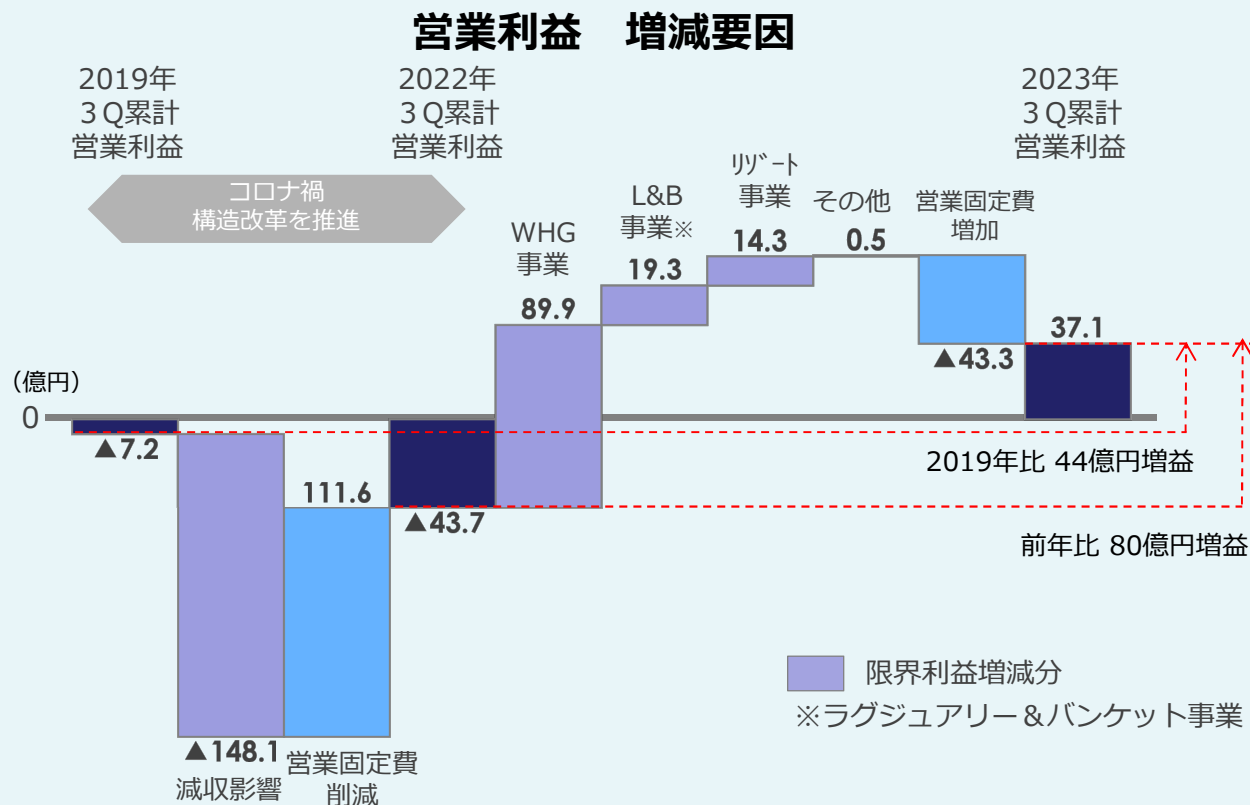


損益計算書 (営業利益増減要因)

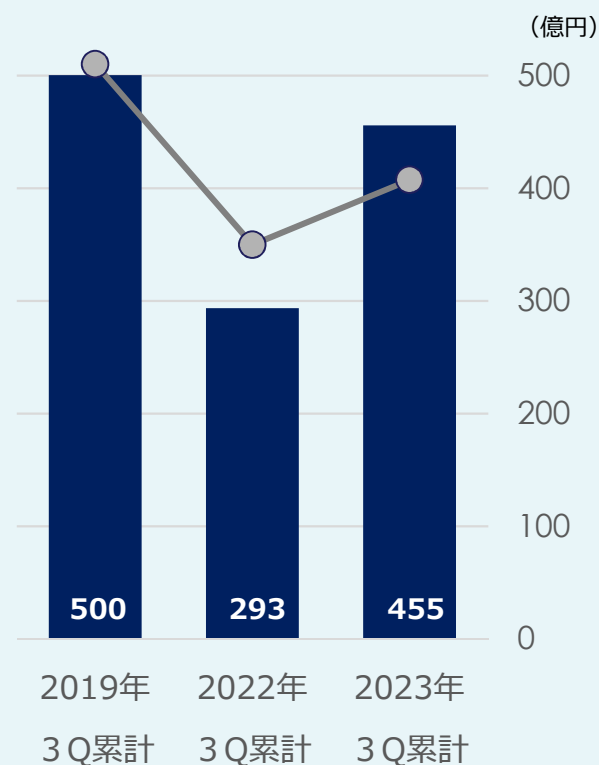


2023年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶各事業の売上回復を受け、前年比80億円増益
- ▶2019年比では構造改革により営業固定費を68億円削減、2019年比44億円増益



損益分岐点売上高の推移



<2023年営業固定費主な増減>

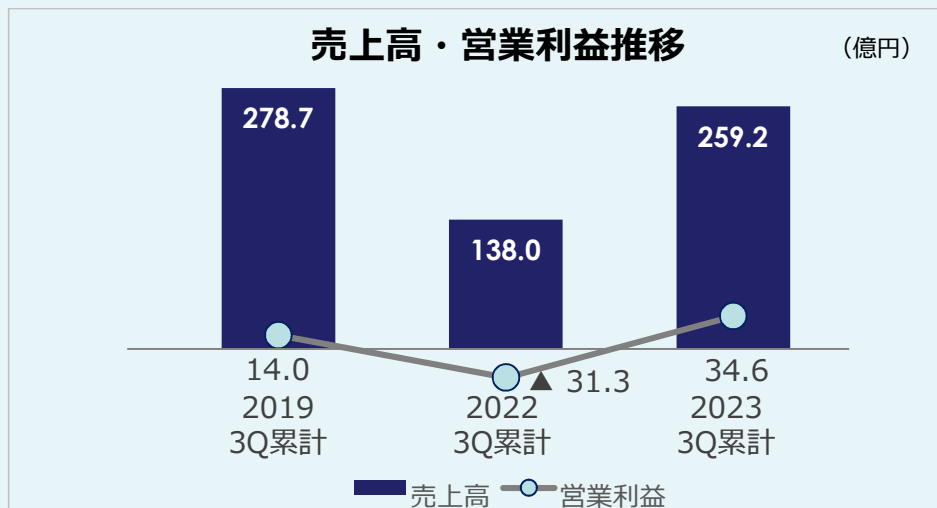
2019年比	▲68.2億円	前年比	+43.3億円
労務費	▲42.0億円	労務費	+23.4億円
減価償却費	▲9.4億円	地代家賃	+9.4億円
租税公課	▲3.7億円	水道光熱費	+4.6億円
広告宣伝費	▲2.4億円		

WHG事業 3Q概況



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

東京・大阪を中心にインバウンド宿泊者数が増加、前年比121.2億円増収、65.9億円増益 2019年比では19.4億円減収、20.5億円増益



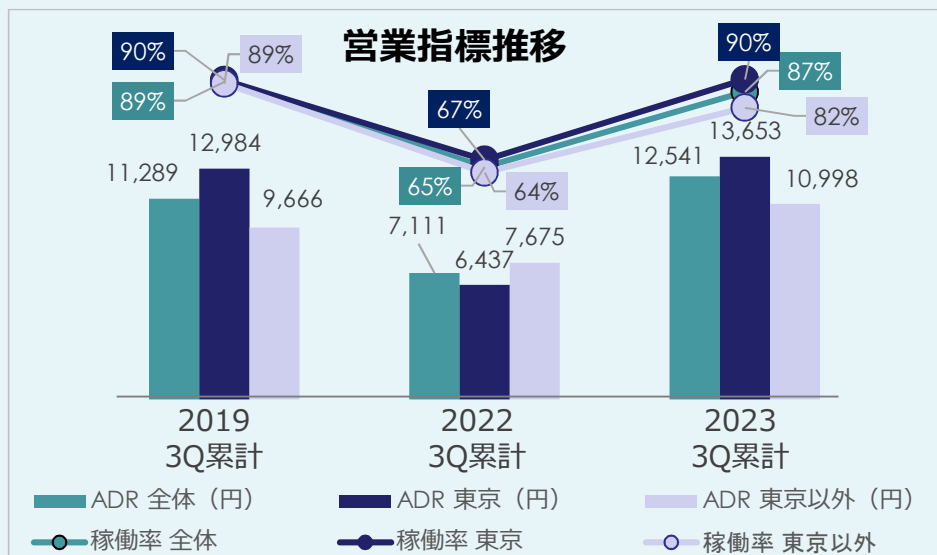
<前年比>

- 増収の内46%は新宿WH・HG新宿が占める

※HG新宿は2月まで行政へ提供しており、3月より通常営業を再開

<2019年比>

- 東京：新宿WH・HG新宿はADR・稼働率ともに上回る
- 東京以外：仙台WH、広島WH、HG大阪なんば、HGソウルのADRは上回るも、その他事業所を含め稼働率は回復途上



2019年3Q→2023年3Q
 営業終了・営業形態変更影響 売上高▲38.3億円
 (横浜伊勢佐木町WH、関西エアポートWH 他)
 新規開業影響 売上高+21.9億円
 (HG台北・大阪なんば、ホテルタビノス浜松町・浅草・京都)

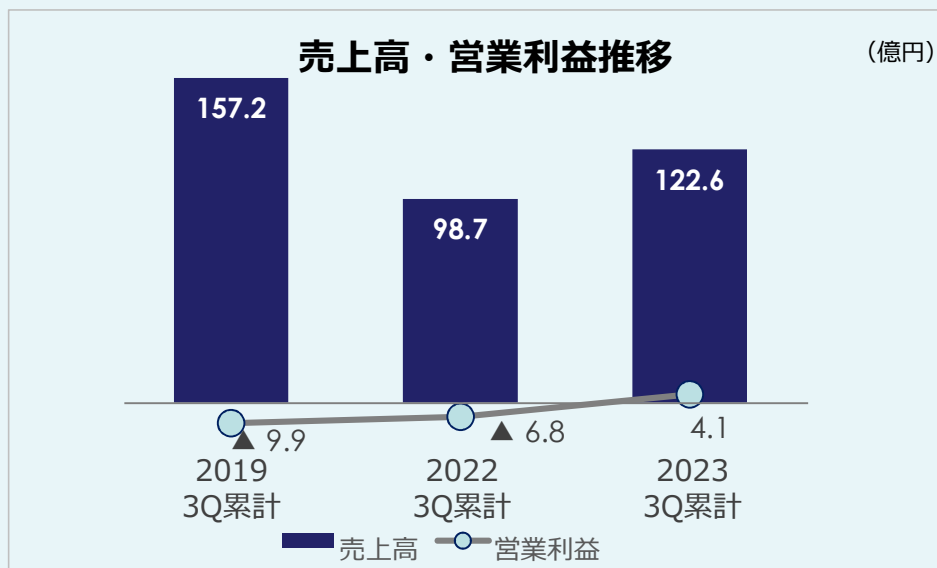
WH : ワシントンホテル
 HG : ホテルグレイスリー

ラグジュアリー&バンケット事業 3Q概況



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

「ホテル椿山荘東京」の全部門で前年比増収 事業全体では前年比23.8億円増収、11.0億円増益の4.1億円の営業黒字

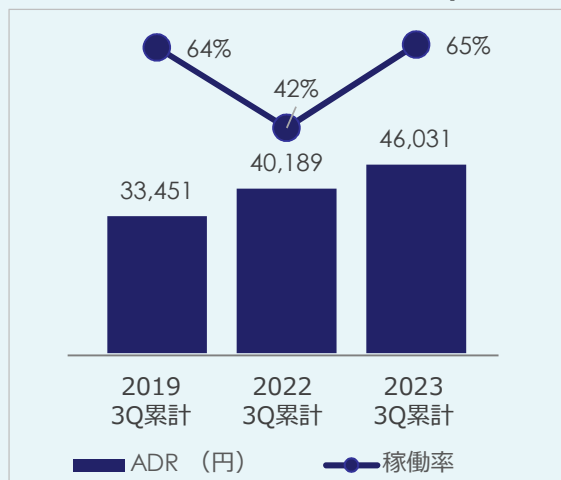


【ホテル椿山荘東京】

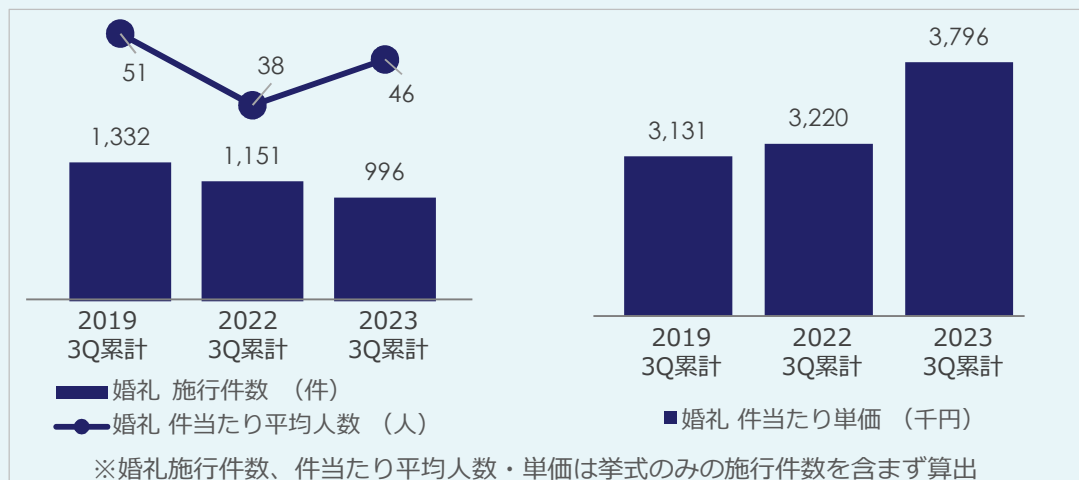
- 宿泊部門：高単価販売に加え、スイートルームの稼働が増えADRが上昇
- 婚礼部門：2019年比で件当たり単価は上昇も人員、施行件数は減少が続く

2019年3Q→2023年3Q
営業終了影響 売上高▲31.1億円
(太閤園、Share Clapping Fukuoka 他)

「ホテル椿山荘東京 宿泊部門」



「ホテル椿山荘東京 婚礼部門」



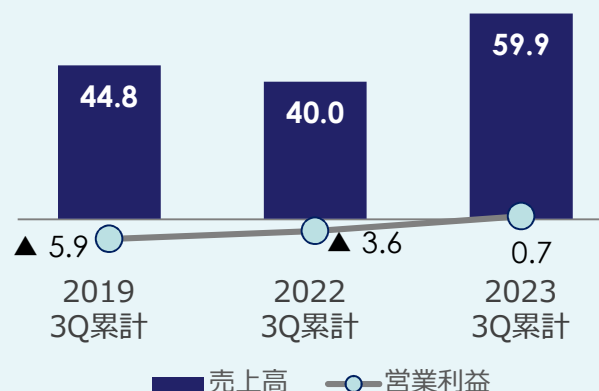
リゾート事業 3Q概況



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

**「箱根小涌園 天悠」が牽引し、
前年比19.9億円増収、4.3億円増益、2019年比15.1億円増収、6.6億円増益
「箱根ホテル小涌園」開業、順調な滑り出し**

売上高・営業利益推移 (億円)



【箱根小涌園 天悠】

- ADR、稼働率ともに前年比2019年比上昇

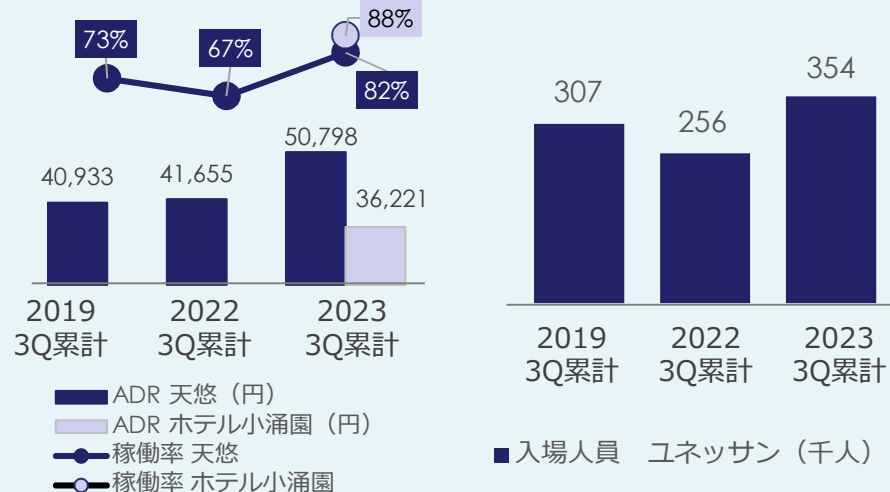
【箱根ホテル小涌園】

- 2023年7月12日開業
- ADR36,221円、稼働率88%

【箱根小涌園ユネッサン】

- 箱根ホテル小涌園宿泊者利用や、流れるプール新設等の効果により、入場人員が前年比38%増加
2019年を上回る

営業指標推移



2019年3Q→2023年3Q
新規開業・セグメント変更・営業終了影響
売上高+11.9億円
(箱根ホテル小涌園、藤乃焯 富士御殿場、永平寺 親禅の宿 柏樹閣 他)

部門別売上高



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

部門別売上高 (1~9月)

(百万円)	部門	売上高実績	前年比	前年比 (%)	2019年比	2019年比 (%)
W H G	宿 泊	23,511	+11,094	+89%	+154	+1%
	そ の 他	2,411	+1,026	+74%	▲2,102	▲47%
ラグジュアリー & バンケット	宿 泊	2,174	+905	+71%	+559	+35%
	婚 礼	4,640	+83	+1%	▲2,166	▲32%
	宴 会	1,982	+953	+92%	▲1,405	▲41%
	料 飲	2,258	+347	+18%	▲638	▲22%
	そ の 他	1,209	+96	+8%	+188	+18%
リゾート	宿 泊	4,491	+1,608	+55%	+1,524	+51%
	日帰り・レジャー	1,268	+278	+28%	+16	+1%
	そ の 他	234	+106	+83%	▲28	▲11%
参 考	宿 泊 部 門 合 計	30,178	+13,608	+82%	+2,239	+8%

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績
 ※ その他：セグメント間の内部売上を含む

宿泊部門 営業指標



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

		2019年				2022年				2023年		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
WHG 全体	稼働率	88%	90%	90%	91%	50%	71%	74%	85%	84%	88%	88%
	ADR	11,205	11,555	11,122	11,142	6,417	6,688	7,906	9,509	10,821	13,083	13,487
WHG 東京	稼働率	89%	90%	91%	94%	49%	76%	74%	89%	89%	91%	90%
	ADR	13,169	13,427	12,390	12,803	6,091	5,955	7,125	9,379	11,567	14,428	14,612
WHG 東京 以外	稼働率	87%	90%	90%	89%	50%	66%	74%	81%	78%	83%	85%
	ADR	9,285	9,782	9,917	9,460	6,669	7,366	8,528	9,646	9,853	11,123	11,909
ホテル 椿山荘 東京	稼働率	63%	72%	57%	74%	34%	45%	46%	78%	65%	72%	58%
	ADR	33,260	33,700	33,347	35,211	40,243	39,594	40,724	40,581	42,660	45,527	50,335
箱根 小涌園 天悠	稼働率	72%	72%	75%	76%	64%	59%	77%	91%	83%	79%	85%
	ADR	40,634	40,632	41,500	40,471	40,326	40,439	43,655	43,182	48,575	50,630	53,090
箱根 ホテル 小涌園	稼働率											88%
	ADR											36,221

2023年7月12日開業

※ ADR：(円)

【ホテル椿山荘東京】 婚礼部門

	2019年				2022年				2023年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
施行 件数	372	576	384	692	313	498	340	596	271	436	289
件当 たり 単価	3,273	3,187	2,910	3,065	2,969	3,264	3,387	3,501	3,675	3,948	3,679
件当 たり 平均 人数	54	52	49	48	32	39	41	43	44	49	45

※ 件当たり単価：（千円）

※ 婚礼施行件数、件当たり単価・平均人数は挙式のみでの施行件数を含まず算出

【箱根小涌園ユネッサン】

（千人）

	2019年				2022年				2023年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
入場 人員	77	70	158	54	50	61	145	73	75	70	208

インバウンドの状況

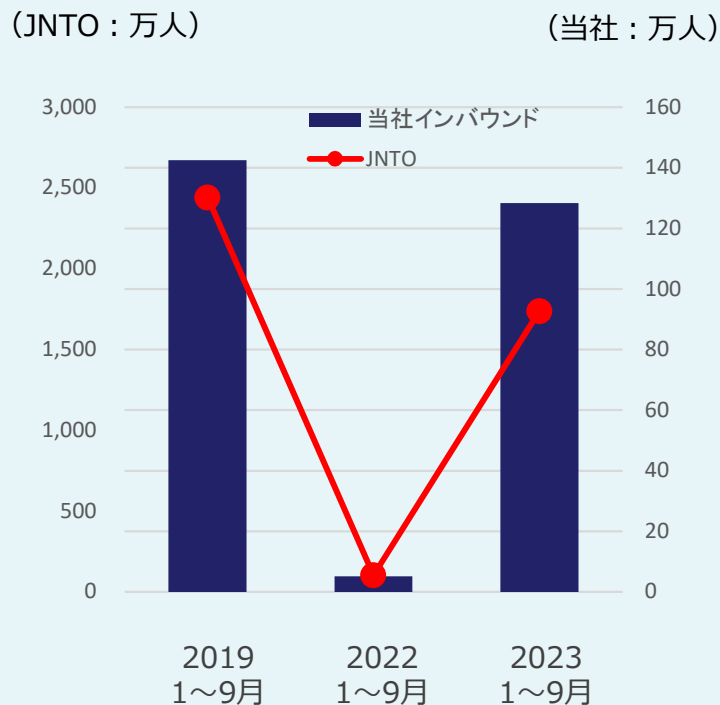


2023年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶インバウンド比率は44.9%
(2019年比▲0.3%pt)
- ▶国別シェアでは韓国(23%)が最多

	2023年 1~9月	2019年比
当社インバウンド 宿泊者数	128万人	▲10.0%
当社総宿泊者数	285万人	▲9.3%
インバウンド比率	44.9%	▲0.3%pt
JNTO	1,737万人	▲28.8%

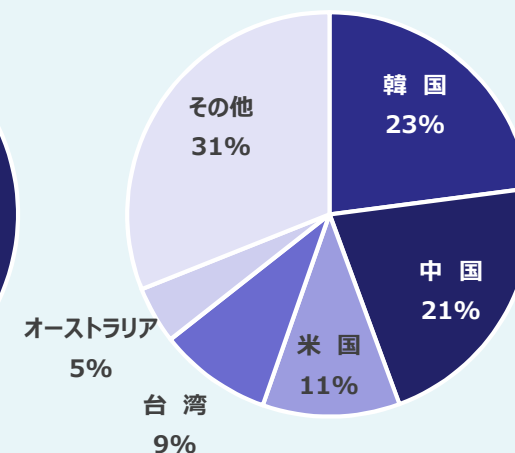
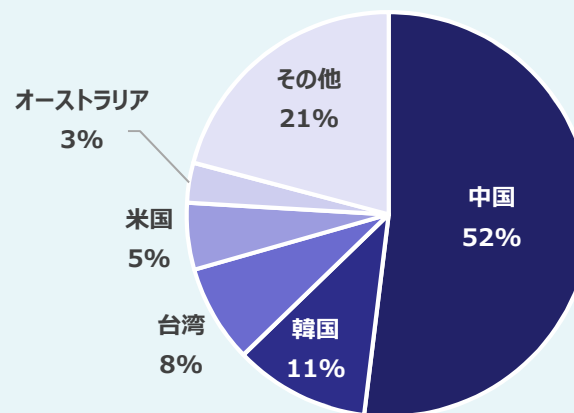
当社インバウンド宿泊者数



当社インバウンド宿泊者数 国別シェア

2019年1~9月

2023年1~9月



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

貸借対照表



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

▶ A種優先配当金支払い等により資本剰余金が減少した一方、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加し、純資産は前期末比45億円増加の272億円

	当四半期末	2022年末	増減
純資産	272億円	227億円	+45億円
自己資本比率	28.3%	22.6%	+5.7%pt

	(百万円) 2023年9月	2022年12月	増減	主な増減要因
流動資産合計	24,550	30,947	▲6,397	現預金の減少
固定資産合計	71,834	69,015	+2,819	箱根小涌園再開発に伴う資産取得による増加
資産合計	96,384	99,962	▲3,578	
流動負債合計	28,366	27,321	+1,045	
固定負債合計	40,718	49,901	▲9,183	借入金返済等による減少
負債合計	69,085	77,222	▲8,137	
純資産合計	27,299	22,740	+4,559	A種優先配当金支払い等による資本剰余金の減少 四半期純利益の計上による利益剰余金の増加
負債純資産合計	96,384	99,962	▲3,578	

施設一覧 (2023年11月9日現在)



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
《宿泊》 36拠点 10,827室				《宿泊》12拠点 565室		《宿泊》 1拠点 267室	
■ワシントンホテル (21拠点 6,619室)		■ホテルグレイスリー (11拠点 3,198室)		箱根ホテル小涌園	150室	ホテル椿山荘東京	267室
仙台	223室	札幌	440室	箱根小涌園 天悠	150室	《婚礼・宴会》 3拠点	
新宿 (本館)	1,280室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	マリーエイド (広島県)	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ルメルシェ元宇品 (広島県)	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	ザ サウスハーバーリゾート (広島県)	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	《レジャー》 1拠点	
浦和	140室	京都三条 (北館)	97室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメラアヒルズカントリークラブ (千葉県)	
広島	266室	京都三条 (南館)	128室	Nordisk Village Goto Islands (長崎県) (2023年12月31日営業終了)	12室	《レストラン》 2拠点	
キャナルシティ・福岡	423室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】 (山梨県)	26室	その他事業	
会津若松【FC】	154室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室	《宿泊》 1拠点 214室	
郡山【FC】	184室			《レストラン》 3拠点		ISORAS CIKARANG イソラス チカラン (インドネシア サービス・アパートメント)	214室
いわき【FC】	148室	■ホテルフジタ (1拠点 354室)		レストランあかしあ亭 (秋田県)		海外現地法人・駐在員事務所	
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館		上海	
木更津【FC】	146室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
燕三条【FC】	103室	■ホテルタピノス(3拠点 656室)		《レジャー》 5拠点			
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室	箱根小涌園ユネッサン		FC：フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、 当社はブランド使用権の貸与と運営を指導	
関空泉大津【FC】	151室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯		MC：マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営 を受託	
宝塚【FC】	135室	京都	190室	箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音			
佐世保【FC】	190室			Fuji Camp Base煌 (藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
新宿 (新館)【MC】	337室			下田海中水族館			

会社概要



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,574株
	A種優先株式 150株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部

TEL : 03-5981-7727

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
また、注記を行っている場合を除き、2023年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。
当資料の転載はご遠慮ください。